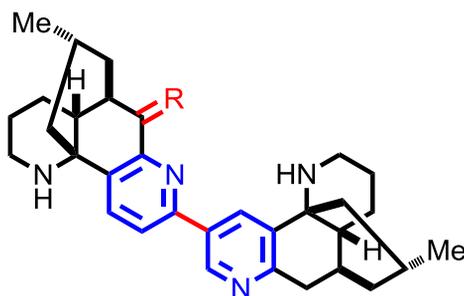
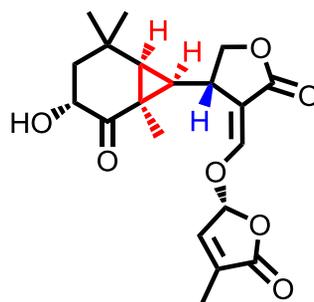


リコジン



R = H<sub>2</sub> : コンプラナジンA

R = O : コンプラナジンB



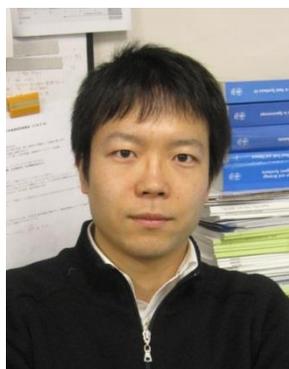
アベナオール

# C-Bio Seminar

[2017年8月3日 木曜日 16:45~17:45]

ゲノミクス研究棟2Fセミナー室

## 「特異な骨格をもつ生物活性天然物の全合成」



塚野 千尋 博士

(京都大学大学院薬学研究科)

天然有機化合物(天然物)は複雑な構造を持つため、また時に、強力な生物活性を示すため、合成化学者の研究対象となってきた。我々は、天然物の中でも特異な骨格を持つ天然物に着目し、合成研究に精力的に取り組んでいる。これら天然

物の合成は、自然界から微量しか得られない化合物を供給できる点に加えて、修飾の難しい天然物の構造を改変できる点でも重要である。最近では神経成長因子(NGF)の分泌を促進するコンプラナジン類や、発芽刺激作用を有するアベナオールの全合成を達成している。両化合物は興味深い生物活性に加えて、前者は非対称二量体構造、後者は主鎖置換基が全て同一面方向に位置するシクロプロパン環を有する点で合成化学的にも挑戦しがいのある化合物である。今回のセミナーではこれら化合物を中心に、標的化合物をいかに合成したか、そして、その全合成によって何を明らかにできたかについて紹介する。